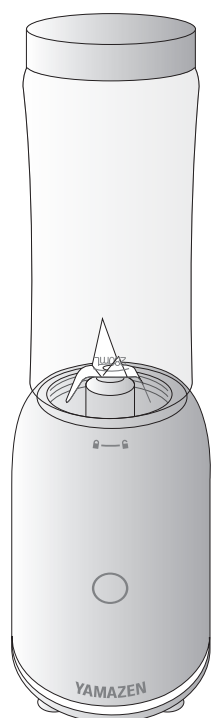




タンブラーミキサー YMF-280



取扱説明書

もくじ

保証書付

- 安全上の注意…………… ①～②
- お使いの前に…………… ③
- 各部の名称…………… ④
- 使いかた…………… ⑤～⑥
- お手入れ…………… ⑦
- 仕様…………… ⑧
- 故障かな?と思ったら…………… ⑨
- アフターサービスについて…… ⑩
- 保証書…………… 裏表紙

この商品は、海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

家庭用

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途で使用しないでください。
思わぬ事故の原因になります。

- ・このたびは、タンブラーミキサーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- ・使用の前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上の注意

必ずお守りください

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。



警告

誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取り扱いをしたときに傷害または物的損害に結びつくもの

図記号の説明



禁止

禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



指示

指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



注意

注意を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



警告



分解禁止

分解・修理・改造をしない

火災・感電の原因になります。修理はお買い上げの販売店に相談してください。



水濡れ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。

電源プラグ・コードは正しく扱う



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



ホコリをとる

電源プラグの刃にホコリが付いているときは、乾いた布でふき取る
火災の原因になります。



電源プラグを抜くときは、コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く

断線したり、故障・事故の原因になります。



根元まで差し込む

電源プラグは、根元まで確実に差し込む

感電・ショート・発火の原因になります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電やけがの原因になります。



プラグを抜く

運転時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

誤った操作で運転し、けがをすることがあります。



交流100V
15A以上

電源は交流100Vで使用し、コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

警告



プラグを
抜く

異常・故障時には、直ちに使用を中止して電源プラグを抜く

異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店に相談してください。

[異常・故障例]

- 使用中、電源プラグやコード・本体が異常に熱くなる。
- 煙が出たりこげくさい臭いがする。
- 本体の一部が割れたり、ゆるみ・がたつきがある。



禁止

子供だけで使用したり、幼児の手の届く所で使わない

感電やけが、やけどの原因になります。



禁止

不安定な場所で使わない

けがをしたり、破損の原因になります。



禁止

運転中に移動させない

けがの原因になります。



禁止

調理以外の用途には使わない

けがをしたり、故障の原因になります。



禁止

すき間からピンや針金など、異物を入れない

感電や異常動作して、けがの原因になります。

注意



プラグを
抜く

ボトルなど取り付け、取り外しは電源プラグを抜いて行う

けがの原因になります。



使用後は必ずお手入れをする

故障の原因になります。



禁止

水のかかる所や、火気の近くでは使用しない

感電や漏電の原因になります。



禁止

食器洗浄機や食器乾燥機は、使わない

破損の原因になります。



禁止

材料が多すぎたりして、運転が停止したときは、そのままの状態で使用しない

故障したり、破損の原因になります。



禁止

40℃以上の熱い材料をボトルに入れない

ボトルが変形したり、中身がふきこぼれてやけどをすることがあります。



禁止

カッターを直接手で触らない

けがの原因になります。



禁止

使えない材料を入れない(P5参照)

故障したり、破損の原因になります。



禁止

空回ししたり、最大量(280mL)を超える材料を入れない

故障したり、破損の原因になります。



禁止

運転中は本体を持ち上げない

故障したり、破損の原因になります。



禁止

ボトルを冷凍保存したり、凍らせない

内容物が膨張してボトルが破損します。

お使用の前に

- 初めて使うときや長期間保管していたときは、ボトルを水洗いして十分に乾燥させてください。
- 本体とボトルの間に絶対水をいれないでください。
- 調理中、ボトルの上に物を置かないでください。
- ボトルを直火にかけたり、熱湯で洗ったり、電磁調理器・電子レンジなどで使用しないでください。
- 調理後のボトルを冷凍しないでください。
- 運転時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ボトル台とふたには半透明のシリコン製のパッキンがついています。必ずついていることを確認してしめてください。
- お湯や炭酸水など、膨張したり発泡する液体は入れないでください。

各部の名称

ボトル

必ず、280mL以下で使用してください。

付属品のふたに取り換えて保存したり、ケースに入れて持ち運ぶことができます。



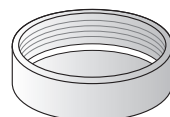
注意 熱湯を入れたり、冷凍しないでください



付属品

ふた

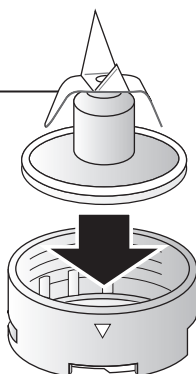
- 保存・持ち運びの際に使用してください。
- ボトルの底についています。



ボトル台

カッター

カッターがボトル台にしっかりとハマっていることを確認してください。刃は鋭利になっていますので、ご注意ください。



本体

取り付け/
取り外しマーク



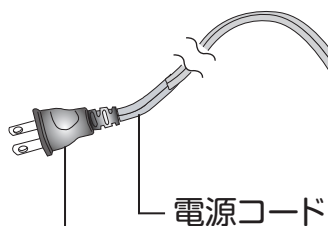
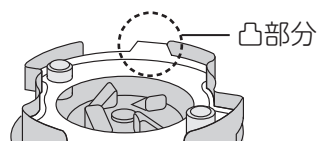
取り付け



取り外し

安全装置

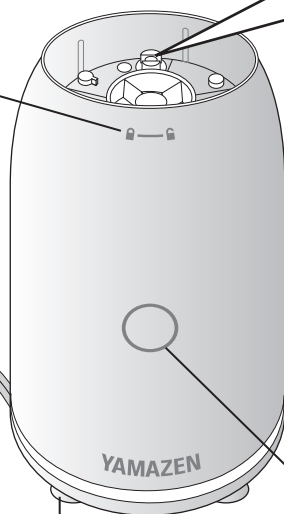
ボトル台の凸部分(白い部分)で押されていないと、回転ボタンを押しても運転しません。凸部分が出ていないときは、指で引き出してから使用してください。(ボトル取り付け:P5参照)



電源コード

電源プラグ

水をつけたり汚さないでください。



ゴム脚

本体を安定させるために吸盤になっています。本体を移動させる際は注意してください。

回転ボタン

押している間だけ運転します。

使いかた

1 材料を準備する

- 材料は約1.5cm角に切っておきます。
※果物は皮と芯を取ってください。
※ニンジンなど固い材料は、煮るなどやわらかくしてから使用してください。
- 材料が熱い場合は、40℃以下に冷ましておきます。

次のような材料は使用しないでください。

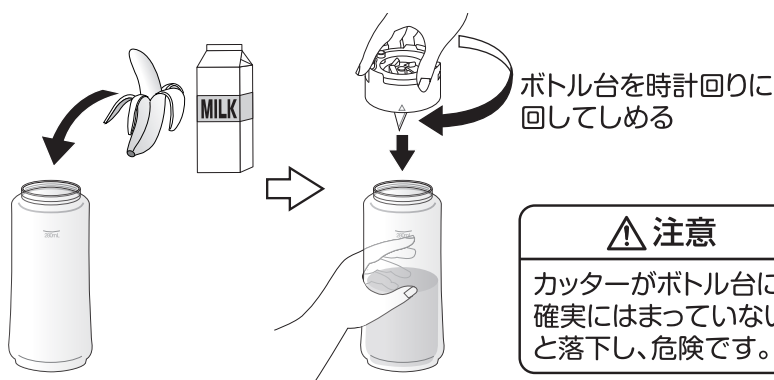
カッターを傷めたり、モーターの故障の原因になります。

- ・肉類や魚介類
- ・粘り気のあるもの(やまいも・納豆など)
- ・乾物
- ・食品以外
- ・ロックアイス(コンビニなどで販売されているもの)
- ・冷凍食品

2 ボトルに材料を入れる

- 材料は、280mL以下の量にします。
- 「液体」→「水分を含む柔らかいもの」→「固いもの」の順序で入れてください。
- 氷を加える場合、約1.5cm角以下の氷を最後に少量入れます。
- 材料を入れた後、しっかりとボトル台でしめます。

氷は家庭用冷蔵庫で作った氷を2～3個入れることができますが、大量に入れるとカッターを傷めたりモーターの故障の原因になります。



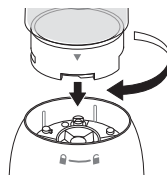
[ボトルの外しかた]



※使用後は早めにお手入れしてください。

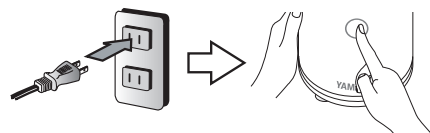
3 ボトルを本体にセットする

ボトルを時計回りに回してセットします。
※ボトル台の▼印を、本体の取り付けマーク(🔒)に合わせてください。



4 運転する

電源プラグをコンセントに差し込み、本体を軽く支えながら「回転」ボタンを押します。ボタンを押している間だけ運転し、離すと停止します。



使いかた

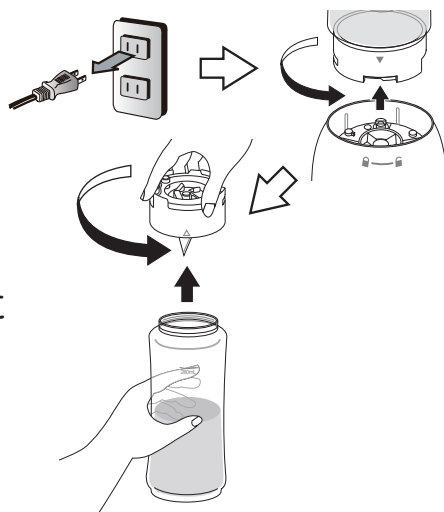
5 材料を取り出す

- ①電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ②ボトルを反時計回りに回して、本体から外してください。
※ボトル台の▼印を、本体の取り付けマーク(🔒)に合わせてください。
- ③ボトルを逆さにしてから、ボトル台を反時計回りに回してボトルから外してください。



注意

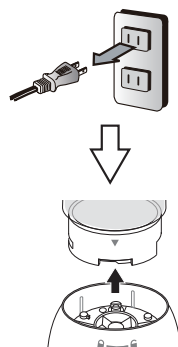
電源プラグは必ず抜いてください。差し込んだままの場合、回転ボタンを不意に押してしまった時に運転し危険です。



[使用中に運転が止まったときは]

ボトルに投入した材料が大きすぎたり、多かったり、調理できない材料(P5参照)が入っていると、モーターを保護する保護機能が働き、運転が停止します。このときは、次のようにしてください。

- ①電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ②ボトルを本体から外してください。
- ③材料が大きかったら小さく切り直してください。
材料が多かったら減らします。
粘り気が多ければ水分を加えます。
- ④ボトルを本体にセットして、再び運転してください。

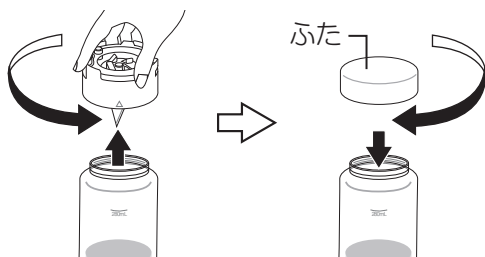


※材料を減らしてもたびたび止まることがあれば、お買い上げの販売店に相談してください。

[お願い]

- 定格1分以上の連続運転はしないでください。
- 1分使用ごとに20分以上休止させてください。
- ボトルが空の状態では運転させないでください。
- 必ず、液体や水分の多い材料を入れてください。

保存・持ち運びの際は
ふたを使用してください。



お手入れ

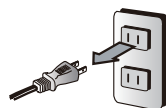
1 電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際には電源プラグは必ず抜いてください。



警告

電源プラグをぬれた手で、抜き差ししないでください。
感電の原因になります。



2 お手入れをする

本体

- 柔らかい布に水を含ませ、固くしぼってからふいてください。
- 台所用中性洗剤などを使用のときはその後必ず布に水(お湯)を含ませ、よくしぼってから拭き取ってください。そのあと乾いた布で拭いてください。

ボトル、ふた

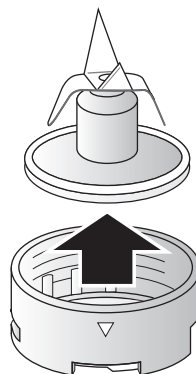
使用のたびに洗ってください。

- 柔らかいスポンジなどで洗って、乾いた布で拭いてください。

カッター

使用のたびに洗ってください。

- カッターをボトル台から外す際には刃が鋭利になっていますので注意してください。
カッター部分はブラシなどを使って洗ってください。
洗った後は、しっかりとボトル台にはめこんでください。



3 お手入れ後は

水気が残らないよう十分に乾燥させて、湿気の少ない直射日光の当たらない場所に保管してください。



注意

- シンナー・ベンジンや磨き粉などを使わないでください。
変色・変質・劣化などの原因になります。
- カッターは鋭利なので直接手で触れないでください。
けがの原因になります。
- 食器洗い洗浄機や食器乾燥機で洗浄したり乾燥させないでください。
煮沸消毒もしないでください。
変形の原因になります。
- 漂白剤を使用しないでください。
変質や腐食の原因になります。

仕様

電 源	AC100V・50/60Hz
消 費 電 力	150W
本 体 寸 法	約100×100×300mm(ふた含む)
本 体 質 量	約680g
電源コード長	約1.5m
ボトル 寸 法	約65×65×153mm(ふた含む)
容 量	280mL
定 格 時 間	連続1分

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

ボタンを押しても
運転しない



電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。
→電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
ボトル台の▼印と本体の取り付けマーク(■)が合っていますか。(P5参照)
→安全装置が作動している可能性があります。合わせてください。

本体が熱くなる



定格時間を超えたり、繰り返し使用していませんか。
→連続運転は定格時間を超えず、繰り返すときは本体を十分冷ましてから使用してください。

使用中に運転が
止まる



材料が大きすぎたり、多すぎませんか。
→適度な大きさにして、280mLを超えないよう加減してください。(P5参照)
調理できない材料ではありませんか。
→調理できない材料を取り除いてください。(P5参照)
※P6の「使用中に運転が止まったときは」を参照して、やり直してください。

液が漏れる

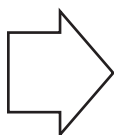


ボトル台が傾いてしめられていたり、緩んでいませんか。
→確実にしめるようにしてください。

上記の点検または処置をしても異常がなおらなかったり、原因がわからないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店へ連絡してください。

こんな症状があったら

- 電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
- コードにきずがついたり、触れると動作しなかったりする。
- 焦げくさいにおいがする。



使用を中止し、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検を相談してください。

アフターサービスについて

製品の保証について

●この説明書には製品の保証書がついています。

保証書は、お買上げの販売店で「お買上げ日」「販売店名」などの記入を受け、確認のうえ内容をよくお読みいただき大切に保管してください。

●保証期間はお買上げ日より1年間です。

保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。

●保証期間後の修理

お買上げ販売店に相談してください。修理によって使用できる場合は、要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に沿って確認していただき、それでも異常のあるときは、ただちに使用を中止し、お買上げ販売店に修理をお申しつけください。自分での分解・修理は絶対にしないでください。感電やけがの恐れがあります。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後5年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

この商品についてのお取扱い・お手入れ方法などの相談、転居されたり贈答品などで、販売店に修理の相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」に相談してください。

お客様ご相談窓口

ダイヤル  0570-019-700

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。

受付時間 10:00～17:00 (土・日・祝日を除く)

●Eメールでの相談も受け付けております。
その際は商品名・形名・相談内容・お名前・
お電話番号を記入の上、相談してください。

Eメールでのご相談は

info_a@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報や相談内容を、相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。

また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には商品名・形名を連絡してください。